

WGのご説明資料

2011. 3. 11

JCC クラウドマイグレーション検討WG

JCC クラウドマイグレーション検討WGに参加登録頂きありがとうございます。

本日は、WGの目的、活動内容などの案をご説明、ご参加頂いたメンバーの方々のご意見を頂き、今後のWG活動の方向性を決めていくスタートにしたいと考えております。

メンバーの方々のご協力により有意義なWG活動にしていきたいと考えますのでよろしくお願い致します。

JCC クラウドマイグレーション検討WG事務局

●WGの目的

クラウドへのマイグレーションを進める上での共通課題を明らかにするとともに、その解決の方向性をWGの成果として纏め、公開することにより、日本の企業・団体におけるクラウド活用の進展に貢献する。

●本WGにおけるマイグレーションの定義

“企業・団体が、現在利用している情報システムを、クラウドのメリットを活用した新しい情報システムに移行していく事”

●活動のスタンス

クラウドを活用する企業・団体の立場・視点から議論、活動し、WGの成果を纏める。

●活動のスコープ

(1)対象とするクラウドの利用形態

企業・団体によりクラウドを活用する目的とクラウドの利用形態は異なると想定されるが、いくつかの基本パターンに分類するなどして、様々な利用形態をカバーできるようにする。

＜基本パターンの例＞

- ①PaaS活用、②SaaS導入、③自社/自グループシステムのCloud化(=Private Cloud構築)、
- ④:②と③の複合

(2)検討の対象領域

マイグレーションそのもの(移行計画や手順など)とマイグレーションの結果生じる影響(運用、IT組織のミッション変化など)を対象とし、クラウドそのものの技術や目的は対象としない。

(1)マイグレーション時に検討すべき課題リスト

計画面、契約や規制面、運用面など、利用しやすい分類で、検討すべき課題をリストとして纏める。

(2)課題解決のガイドライン

課題の解決に役立つ確認項目リスト、標準的な検討プロセス、解決を支援する情報ソースなどをガイドラインとして纏める。

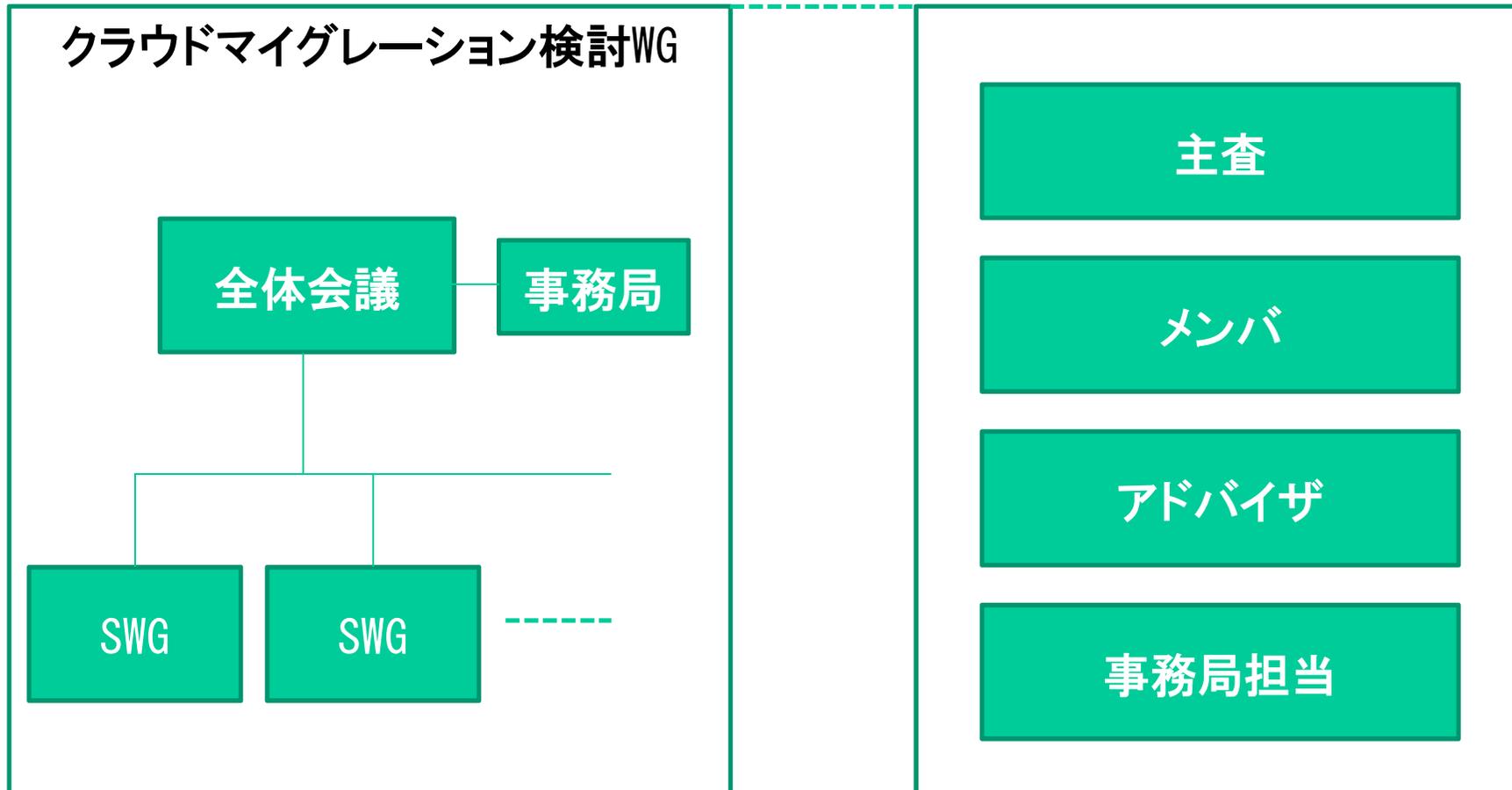
(3)ユーザ事例

具体的な事例を、例えば、導入計画概要とそこで発生した課題と解決方法などの形で纏める。

<成果物の取り扱い>

- ・一般に公開し、メンバの方々を含め広く企業・団体で活用して頂く。
- ・必要に応じて政策提言、標準化提案等に活用する。

WGの構成



SWG:サブ・ワーキンググループ

主査:㈱日立製作所 樋野 匡利
事務局担当

㈱日立製作所 秋沢 充、三宅 滋

㈱日立コンサルティング 伊藤 泰樹

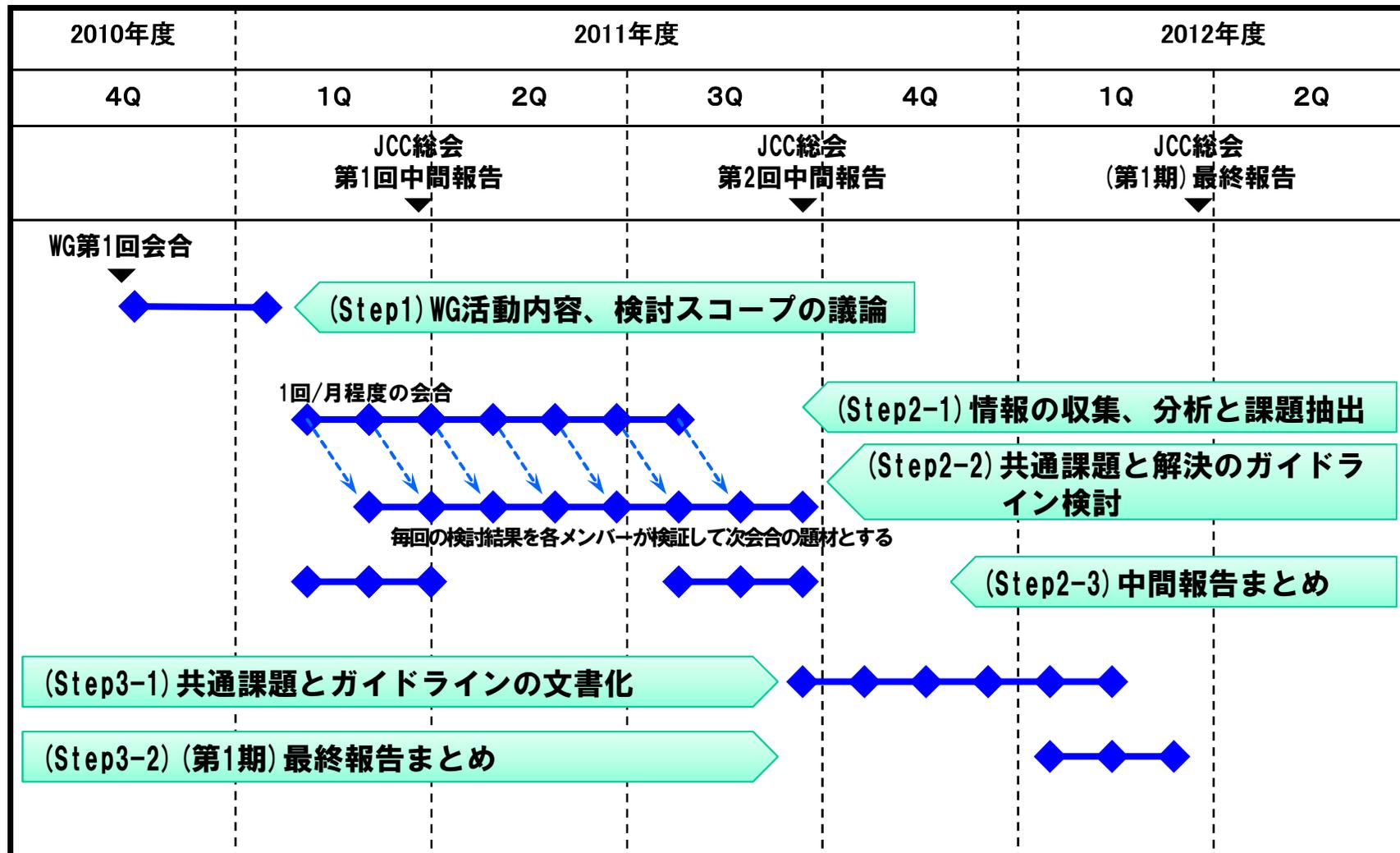
●主な活動

- 月一回程度のWG全体会議で情報共有と議論を実施
- 必要に応じてSWG単位での活動を実施
- 会議とは別に、情報収集のための活動を実施
(ヒアリング、アンケート調査など)

●役割

- 主査 : WG運営の纏め、JCC総会への報告などを担当する。
- メンバ : 情報提供、ヒアリング、アンケート調査、成果物の作成やレビューなどのWG活動を担当して頂く。
- アドバイザ : WG活動や成果物に対してご助言を頂く。
- 事務局 : WG運営支援、JCCとの連絡などを担当する。

活動日程(大日程)



●計画・移行SWG

目的にあったクラウド活用パターンや利用するサービスの検討など、マイグレーションに先立つ検討段階での課題、実行の手順やデータの移行などマイグレーション時の課題を検討する。

●契約・法務SWG

SLAなどの契約、クラウド導入にあたって考慮すべき法律対応(個人情報保護など)、既存設備の処理に関わる優遇制度など法律面や会計処理面での課題を検討する。

●運用・IT組織SWG

クラウドの導入によって、IT組織の役割が、所有するITの運用から利用するサービスの評価や管理に変わるなど、運用やIT組織の変化に対する課題を検討する。

(1) 今回ご説明した内容や今後の活動に関して、皆様のご意見をお聞かせ頂くアンケートに、ご回答をお願いします。頂いたご回答を踏まえ、次回WGにて、今後の活動、進め方を決定させて頂きたいと思えます。

尚、アンケートのご回答は、3月25日(金)迄にお願い致します。

(2) 検討テーマ別にSWGを設ける事を提案させて頂いておりますが、当面はWG全体で活動し、SWGの構成や活動内容が合意された後、各SWGの活動を進めて行きたいと考えております。

(3) 今後のWG全体会議を、以下の通り提案させて頂きます。

- ・次 回:4月13日(水)15:00～、場所調整中。
- ・次回以降:毎月第2水曜日15:00～、場所調整中。

●WG参加メンバーの名簿作成

本WG参加メンバーの名簿を作成致します。

尚、名簿掲載にご同意頂けない場合は、本WG事務局までご連絡ください。

●JCCホームページへの参加メンバーの掲載

JCCホームページにWG参加メンバーの“会社名”を掲載予定です。

尚、掲載不可の場合は、本WG事務局までご連絡ください。

●WGの検討資料の共有範囲

検討資料の共有範囲は、本WG内のみ(WG外秘)とします。

尚、最終成果物については、公開資料とします。

●メーリングリストの設置

本WGのメーリングリストの設置を検討中です。

(詳細は、決定次第ご連絡致します。)

補足資料

○ NIST※によるクラウドコンピューティングの定義

- 構成設定が可能なコンピュータリソースの共用プールへ、ネットワークを介してオンデマンドで簡単にアクセスできるようにするモデル
- コンピュータリソースとは、例えば、ネットワーク、サーバ、ストレージ、アプリケーション、サービスなど
- 最低限の管理あるいはサービスプロバイダとのやりとりによって、これらのリソースを即座に確保し、また解放することが可能
- クラウドモデルは、5つの本質的な特色、3つのサービスモデル、4つの配置モデルで構成される

(出展: The NIST Definition of Cloud Computing, Version 15, 10-7-09)

※ NIST: National Institute of Standard and Technology (国立標準技術研究所) 米国連邦政府における工業技術の標準化を支援する機関

5つの本質的な特色～NISTによる定義(2)

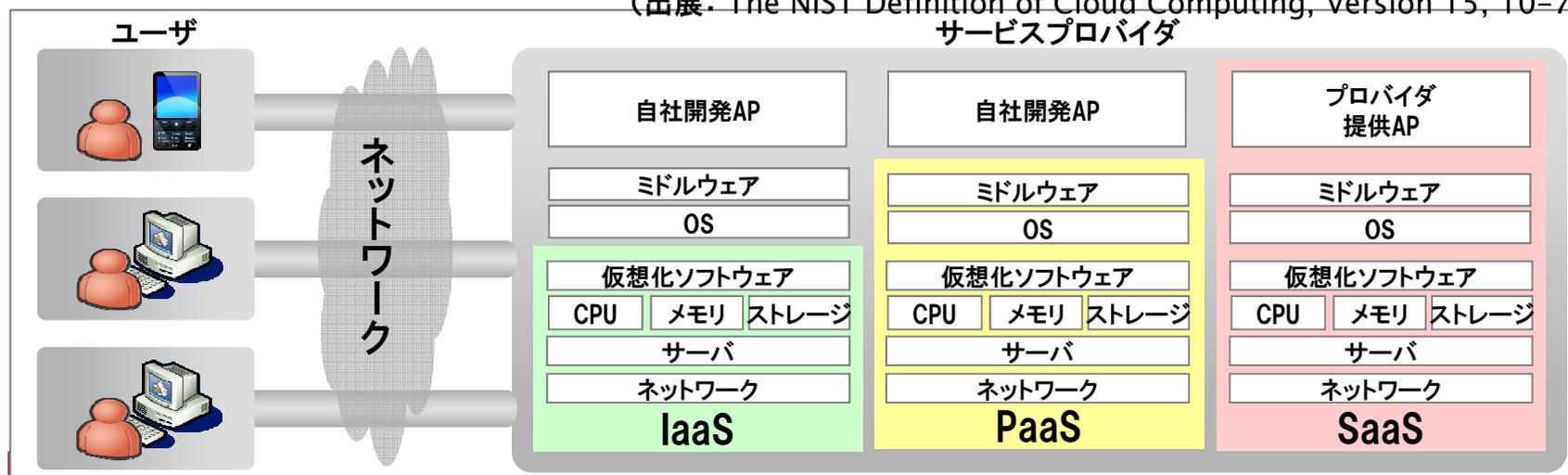
- オンデマンド・セルフサービス
 - 利用者は、サーバやネットワークストレージなどの能力を、必要なときに、人とのやりとりなしに自動で取得することが可能
- ネットワークアクセス
 - ネットワーク経由で、標準的な手段でコンピュータリソースにアクセス可能（携帯電話、ラップトップ、PDAなどからも利用可能）
- リソースプーリング
 - プロバイダは、ストレージ、処理能力、メモリ、ネットワーク帯域、仮想マシンなどを含むコンピュータリソースをプールし、マルチテナントモデルで複数の利用者に提供
- 迅速な伸縮性
 - 迅速にリソースを供給、解放することが可能（スケールアップ、スケールイン）（利用した量や時間に応じて課金が可能）
- サービスの測定
 - コンピュータリソースの使用に関する、監視、コントロール、レポートが可能（サービスタイプに応じて、リソースの利用を自動的に最適化）

（出展：The NIST Definition of Cloud Computing, Version 15, 10-7-09）

3つのサービスモデル ～NISTによる定義(3)

- ▶ SaaS
 - 利用者は、クラウド基盤上で動作するアプリケーションの利用が可能
 - ネットワーク、サーバ、OS、ストレージなどの基盤の管理、コントロールは不可能
 - アプリケーションの設定変更が可能な範囲は限定的
- ▶ PaaS
 - 利用者は、作成または購入したアプリケーションをクラウド基盤上へ配置可能(プロバイダがサポートする言語やツールを使用して開発することが前提)
 - ネットワーク、サーバ、OS、ストレージなどの基盤の管理、コントロールは不可能
 - アプリケーションや動作環境の設定についてはコントロール可能
- ▶ IaaS
 - 利用者は、処理能力、ストレージ、ネットワークなどの基礎的なコンピュータリソースを利用可能であり、任意のOSやアプリケーションを配置可能
 - OS、ストレージ、アプリケーションのコントロールが可能
 - ネットワークコンポーネントのコントロールや選択については限定的(ファイアウォールなど)

(出展: The NIST Definition of Cloud Computing, Version 1.5, 10-7-09)
サービスプロバイダ



4つの配置モデル～NISTによる定義(4)

- プライベートクラウド
 - 単一の組織向けのクラウド基盤
 - 組織自ら運営する場合とサードパーティが運営する場合あり(オンプレミス、オフプレミスの場合あり)
- コミュニティクラウド
 - 複数の組織で共有されるクラウド基盤
 - ミッション、セキュリティ、要求事項、ポリシー、コンプライアンスなどの関心事を共有する特定のコミュニティ向け
 - 組織自ら運営する場合とサードパーティが運営する場合あり(オンプレミス、オフプレミスの場合あり)
- パブリッククラウド
 - 一般ユーザや広く業界向けのクラウド基盤
 - クラウドサービスを販売する組織が所有
- ハイブリッドクラウド
 - プライベート、コミュニティ、パブリッククラウドの組合せ
 - データやアプリケーションの移植性を保つ標準または独自の技術により、複数の配置モデルを一つに束ねたもの(突発的負荷時に他のクラウドに分散するなど)

(出展: The NIST Definition of Cloud Computing, Version 15, 10-7-09)

uVALUE

HITACHI
Inspire the Next